

新美術館みんなのアートプロジェクト ふれてみて

会期：2021年4月10日（土）－8月15日（日）

会場：2F コレクション展示室、アートラボ

新美術館本館2階に新設される「アートラボ」。視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な作品を展示する「ラボ（実験室）」として、誰でも立ち寄れ、アートに触れて、新たな発見が生まれる場となることを目指しています。

「新美術館みんなのアートプロジェクト」では、金箱淳一、中ハシクシゲ、西村陽平、光島貴之という4名の作家に「アートラボ」のためのオリジナル作品の制作を依頼しました。本展では、その全作品をご紹介します。触れて感じるアート。いつもとは違う作品鑑賞をお楽しみください。

※新美術館みんなのアートプロジェクト

ふるさと納税の仕組みを活用し、新美術館の本館無料ゾーンに展示する作品を新たに制作するプロジェクト。あらゆる感覚を使って美術を楽しむ場所、美術に関心のない方にもアートが身近に感じられる場所を、みなさんと一緒に育てていきます。

展覧会概要

『新美術館みんなのアートプロジェクト ふれてみて』

会 期： 2021年4月10日（土）～8月15日（日）

会 場： 長野県立美術館 コレクション展示室・アートラボ

主 催： 長野県、長野県立美術館

展覧会担当： 木内真由美・竹花藍子

観 覧 料： 無料

新美術館みんなのアートプロジェクト



みどころ

- 「新美術館みんなのアートプロジェクト」を通じて、「アートラボ」のために4名の作家が新たに制作した、ふれる美術作品21点すべて展示

本館に新設された「アートラボ」では、「ふれてみて」以降も継続してふれる美術作品を展示いたします。

- 視覚だけでなく、聴覚や触覚などで鑑賞する作品を展示し、いつもとは違う鑑賞体験が味わえる展覧会

作家紹介

■金箱 淳一

楽器インターフェース研究者、Haptic Designer。神戸芸術工科大学助教。筑波大学大学院人間総合科学研究科で博士（感性科学）を取得後、障がいや年齢に関係なく、共に音楽を楽しめる「共遊楽器」（作家による造語）を研究。今回は、《音鈴 - 信濃》と《Vibracion Banco》の2点を制作。《音鈴 - 信濃》は、天井から吊るされたの短冊型のデバイスが、風を受けると音が鳴ったり、光ったりする作品。



金箱淳一©守屋友樹

■中ハシクシゲ

現代美術作家、彫刻家。元京都市立芸術大学教授。視覚を遮断して制作するという実験的な手法により、触覚体験の可能性を探求。今回の展示作品は中ハシが近年取り組んでいる「触覚彫刻」。アイマスクをした状態で、心棒に粘土を付けていくという制作手法で制作したモチーフは、赤ちゃんや犬。今回は年老いて介護が必要になった愛犬をモデルにした《車椅子犬》や赤ちゃんをモデルとした《オネネネ》など、5点の彫刻を制作。



中ハシクシゲ©守屋友樹

■西村 陽平

陶芸家。日本女子大学名誉教授。自身の作品制作とともに、障がいのある方々や様々な人々の造形活動にも関わりワークショップを多数開催。今回の展示作品では、ペットボトルや缶ビール、雑誌など、私たちの身近にある題材が、西村の手を経て美術作品に変化した。焼くことで現れた新たな姿は、見た目はもちろん手触りも変化している。音や温度など、触らなければ作家の意図が伝わらない作品。



西村陽平©守屋友樹

■光島 貴之（制作協力：アトリエみつしま）

美術家・鍼灸師。10歳頃失明。触覚による表現方法を模索し美術作品を発表。触覚に着目したワークショップにも取り組む。カッティングシートやラインテープ、釘などを用いて、ふれて鑑賞することを前提とした作品の制作を続けている。今回は2度の取材旅行で、JR長野駅から当館までを歩いたり、戸隠を散策したり、視覚以外で感じとった長野市の様子を表現した《まち歩き—善光寺参道から信濃美術館へ》をはじめ、6点を制作。



光島貴之©守屋友樹

関連イベント（予約不要・無料）

(1) アーティストトーク

展示作品が出来上がるまでを、作家自身が語ります。

日 時：各会とも 13：30～

①2021年5月8日（土） 金箱淳一、中ハシクシゲ

②2021年6月26日（土） 西村陽平、光島貴之

会 場：本館3F レセプションルーム

(2) クロストーク

当館学芸員を司会に、作家同士が展示について対談します。

日 時：各会とも 10：00～ 司 会：木内真由美（当館学芸員）

①2021年5月9日（日） 金箱淳一、中ハシクシゲ

②2021年6月27日（日） 西村陽平、光島貴之

会 場：本館3F レセプションルーム

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、イベントの開催を中止もしくは延期する場合があります。

同時開催

●新美術館みんなのアートプロジェクト

Something there is that doesn't love a wall—榎原澄人×ユーフラテス

会期：2021.4.10（土）—8.15（日）会場：交流スペース

●美術館のある街・記憶・風景 日常記憶地図で見る50年

会期：2021.4.10（土）—6.27（日）会場：オープンギャラリー

●長野県立美術館完成記念

未来につなぐ～新美術館でよみがえる世界の至宝 東京藝術大学 スーパークローン文化財展

会期：2021.4.10（土）—6.6（日）会場：展示室1・2・3

お問い合わせ・資料リクエスト先

長野県信濃美術館（長野県立美術館）広報・マーケティング室

TEL：026-232-0052 / FAX：026-232-0050 / E-MAIL：npsam@npsam.com